

令和6年10月25日 発表

中小企業月次景況調査結果

令和6年9月分

～令和6年9月 データから見た業界の動き～

令和6年10月25日 発表

製造業はすべてのD.I値が上昇
人材確保・後継者不足など、ヒトに係わる課題を抱える事業者が多数



山梨県中小企業団体中央会

〒400-0035 山梨県甲府市飯田2-2-1

TEL 055-237-3215

FAX 055-237-3216

<http://www.chuokai-yamanashi.or.jp/>

令和6年10月25日 発表

製造業はすべてのD.I値が上昇 人材確保・後継者不足など、ヒトに係わる課題を抱える事業者が多数

■ 概 況

9月の県内景況のD.I値は、製造業・非製造業をあわせた全体で

売上高 ▲6ポイント（前年同月比 2ポイント↓）

収益状況 ▲4ポイント（前年同月比 4ポイント↑）

景況感 ▲10ポイント（前年同月比 10ポイント↑）となり、収益状況・景況感で前年同月を上回った。

業種別で、製造業では…

売上高 ▲20ポイント（前年同月比 10ポイント↑）

収益状況 ▲15ポイント（前年同月比 10ポイント↑）

景況感 ▲20ポイント（前年同月比 25ポイント↑）となった。

「価格転嫁が十分でなく、年内も視野に入れて製品価格の値上げを検討している（骨材・石工品等製造業）」、「半導体関連について、取引先（元請）の受注量は増えているが、組合員（2次・3次下請）の受注量は横ばいの状況（電気機械器具製造業）」など、すべてのD.I値が上昇した半面、十分な仕事量・収益の確保に苦慮するコメントが多かった。

また、経営者や従業員の高齢化・後継者不足による廃業が増えており、織物業では組合員の減少によって総代会制が維持できない状況である。

一方、非製造業では…

売上高 +3ポイント（前年同月比 10ポイント↓）

収益状況 +3ポイント（前年同月比 ±0ポイント）

景況感 ▲3ポイント（前年同月比 ±0ポイント）となり、

夏休みシーズンが終わり宿泊施設では空室が散見され、観光地の人流増加にも一服感がある様子だった。また「建築関連の仕事量が半減している（塗料卸売業）」、「富裕層を除き、消費者の購買意欲が低迷、年末商戦向けの企画数も減っている（ジュエリー製品卸売業）」など、売上高D.I値が低下した。（前年同月比▲10ポイント、前月比▲40ポイント）

また、「前年同月と比べて収益状況が60.5%好転していることは、資材価格の上昇分の転嫁が進んでいることの一つの判断材料である（管工事業）」との報告もあったが、収益状況D.I値は前年同月比±0ポイントであり、価格転嫁の進展には業種によって差がある様子であった。

「県内警備員の2人に1人が60歳以上である（警備業）」、「管工事業の就業者数は29年間で約30%減少している（管工事業）」など、製造業・非製造業を問わず多くの中小企業者が人材確保・定着に課題を抱えている。また「電気技術関係の学生の供給およびU・Iターン希望の技術者を採用できるよう、関係機関に支援をお願いしたい（電気機械器具製造業）」を例に、専門的技術や資格取得を必要とする業種では技術者の確保・育成も課題である。

中央会では、厳しい経営環境を乗り越えるため、専門家派遣や講習会等を活用した支援を強化しています、お気軽にご相談ください。

業界からのコメント

● 製造業

食料品 (水産物加工業)	ギフト関連の新企画（産地直送カタログ）と大口取引があったため、前年同月と比べ売上は114%となった。
食料品 (洋菓子製造業)	酷暑によって冷菓の売れ行きが好調であったため、前年同月と比べ売上は116%となったが、原材料・エネルギー価格の上昇によって収益状況は悪化している。
食料品 (酒類製造業)	ワイン業界は秋の仕込時期に入ったが、前年同月と比べて原材料の調達量はやや減少し、ワイナリーによっては原料酒の在庫調整を行っている。
繊維・同製品 (織物)	組合員の減少によって総代会制が維持できないため、総会制への移行準備を進めている。産地では多くの事業者が家族経営であるため、経営者や従業員の高齢化・後継者不足に課題を抱えている。
繊維・同製品 (織物)	組合員の減少によって総代会制が維持できないため、総会制への移行準備を進めている。経営者や従業員の高齢化・後継者不足が大きな要因であり、整経・染色などの加工業者も含めて深刻な課題である。今後、産地全体で対策を検討していく必要がある。
木材・木製品製造	前年同月と比べ売上は▲42%となった。今後の見通しも良くない。
窯業・土石 (砂利)	地域ごとの工事量・進捗状況によって、製品需要に差がある。製造に係るすべてのコストが上昇しており、売上は▲10%、収益状況は▲5%となった。
窯業・土石 (山砕石)	前年同月と比べ売上は▲9%、収益状況は▲12%となった。原材料等の価格高騰分を十分に転嫁できていないため、年内も視野に入れた製品価格の値上げを検討している。
鉄鋼・金属 (金属製品製造業)	前年同月と比べ景況感の回復を感じている。
一般機器 (業務用機械器具製造業)	前年同月と比べ売上・収益状況ともに▲25%となった。業界全体で厳しい状況が続いているが、9月に入り、景況感のさらなる悪化を感じる。原材料等の価格も高止まりしており先行きは不透明である。
電気機器 (電気機械部品加工業)	前年同月と比べ売上は10%増加、収益状況は5%好転した。年末にかけて10%ほどの売上増加を見込んでいるが、機器の購入価格も5～10%ほど値上がりする予測であるため、収益状況はやや好転すると考えている。 またカスタムメイド製品を取り扱う場合が多く技術者の確保・育成が課題であるため、電気技術関係の学生の供給およびU・Iターン希望の技術者を採用できるよう、関係機関に支援をお願いしたい。
電気機器 (電気機械部品加工業)	前年同月と比べ売上は▲15%、収益状況は▲10%となった。半導体関連について、取引先（元請）の受注量は増えている様子であるが、組合員（2次・3次下請）の受注量は横ばいの状況が続いている。 秋口から来年にかけて状況が改善するとの情報もあるが、業種・取扱機種によって差が発生すると考える。
宝飾 (貴金属)	地金価格の上昇によって、製品価格が前年同月と比べ10%ほど上昇している。

● 非製造業

卸売 (塗料)	前年同月と比べ売上は10%増加・収益状況は23%好転した。建築関連の仕事量が半減している。
------------	---

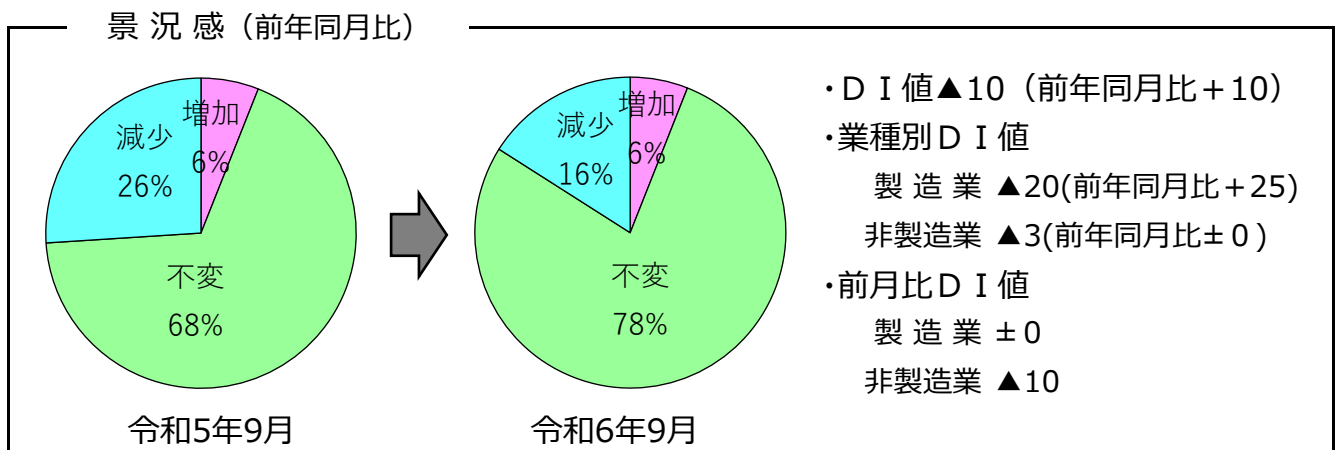
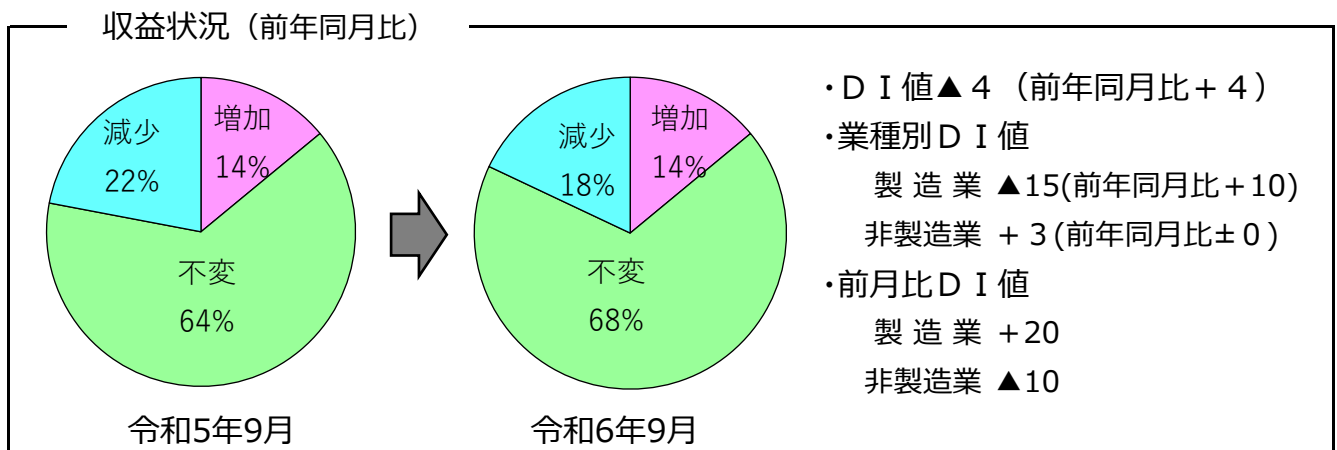
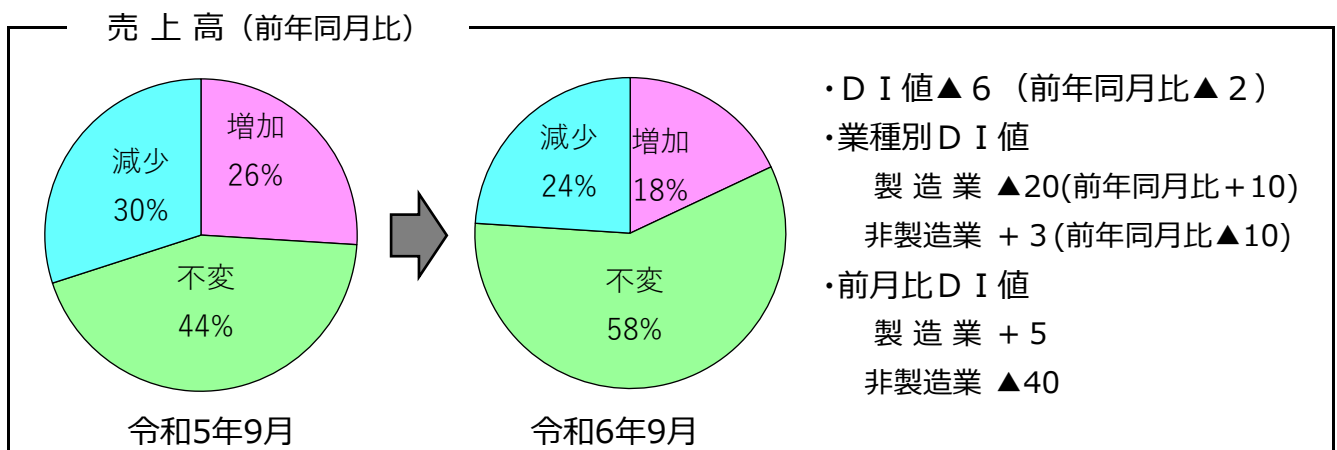
卸売 (ジュエリー)	<p>8月・9月は国際展示会の開催が続き、組合員の多くが出展した。 (8月28日～30日：ジャパンジュエリーフェア、9月は9日～13日：バンコクフェア、18日～22日：香港フェア)</p> <p>香港フェアでは中国の景気低迷を感じ、企業によっては来年以降の出展を見合わせている。 金などの原材料価格の高騰によって販売価格が上昇している。国内販売では、富裕層を除き消費者の購買意欲が低迷、年末商戦向けの企画数も減っていることから、海外販売にシフトする企業も増えている。</p>
小売 (青果)	<p>前年同月と比べ売上は▲2%、収益状況は▲3%となった。天候不順によって野菜の出荷量が減少したが、果物（特にシャインマスカット）の売れ行きは好調であった。</p>
小売 (水産物)	<p>前年同月と比べて売上は▲8%となった。仕入価格の高騰によって厳しい状況が続いている。</p>
小売 (電気機械器具小売業)	<p>前年同月と比べて売上は5%増加・収益状況は3%好転した。商品ごとの売れ行きについて、AV関連機器は前年同月を下回ったが、白物家電が前年同月を10%ほど上回った。</p>
商店街	<p>大月駅周辺で有料駐車場が乱立しており、組合が管理する駐車場の売上が減少している。 大月駅前の人流は増加している一方、商店街の客足は増えず、組合員は厳しい状況が続いており、大月駅を利用する外国人観光客や周辺ホテルへの宿泊者などをどのようにして商店街に誘導するかが大きな課題である。</p>
情報サービス業	<p>前年同月と比べて特に変化はなかった。</p>
宿泊業	<p>夏休みシーズンが終了したため客足が落ち着き、空室も増えた。 秋の行楽シーズンである10月・11月の宿泊客増加に期待している。</p>
産業廃棄物処理	<p>景況感の好転を感じるが、「産業廃棄物処理業景況動向調査」では、今後の景気動向について「悪化する」見込みであるため、今後の動向を注視している。 最大の課題は従業員不足であり、次いで修理・修繕費や人件費の増加が課題である。</p>
一般廃棄物処理	<p>事業用車両の購入について発注から納品まで3年ほどかかる状況であり、既存車両が故障した際の配車に苦慮している。</p>
警備業	<p>土木建築関連の警備依頼が好調で、前年同月と比べ売上・収益状況ともに3%好転した。警備員不足・高齢化（県内警備員の2人に1人が60歳以上）により受注を制限せざるを得ない状況であり、新規採用に力を入れる必要性を感じている。</p>
自動車整備業	<p>車検台数について、普通車12,301台（前年同月比▲852台）、軽自動車9,464台（前年同月比▲627台）※集計の都合上、8月末の数値 11月に東京で開催される「第24回全日本自動車整備技能競技大会」に組合員が出場する。</p>
建設業 (総合)	<p>9月の県内公共工事は、前年同月に比べ件数は▲19%となったが、請負金額は▲24%となった。 9月末の累計件数は1%、請負金額は0.2%それぞれ増加した。</p>
建設業 (鉄構)	<p>リニア関連工事の影響について、会員の一部では受注の動きがあるが、直接的な好影響はあまりなく、業界の慣例となっている問題の解決に業界全体で取り組んでいる。</p>

設備工事 (管設備)	前年同月と比べて売上は7.3%減少したが、収益状況は60.5%好転しており、資材価格の上昇分の転嫁が進んでいることの一つの判断材料である。 管工事業の就業者数は減少（29年間で約30%減少）しており、組合では人材確保・育成のため、国家資格の取得支援などを行っており、今後も業界の魅力向上のため一歩ずつ前進していきたいと考えている。
運 輸 (タクシー)	認可運賃が上昇したため、前年度月と比べ売上は10%増加した。

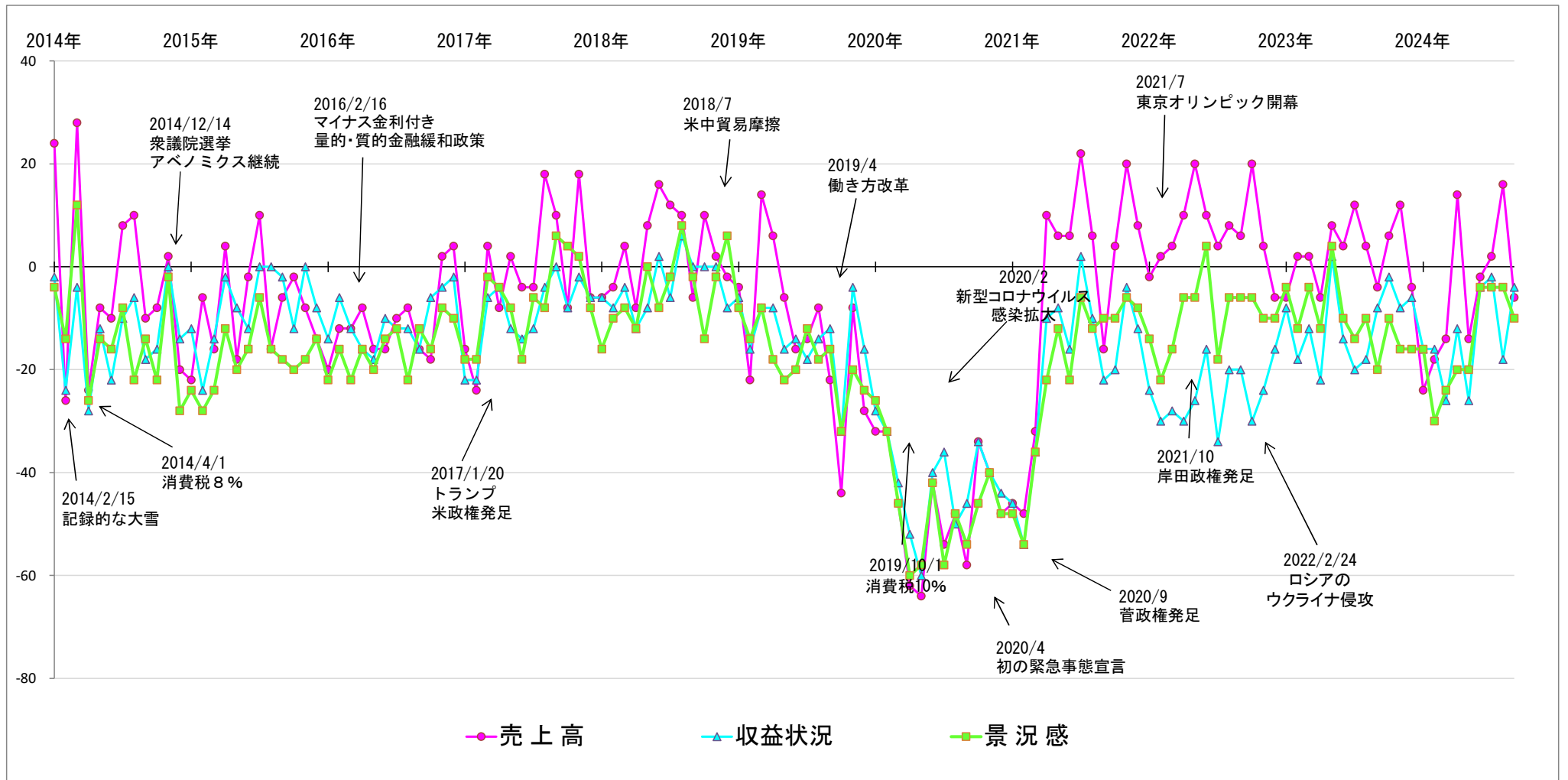
■ 対前年同月比及び前月比景気動向D I 値 (好転又は増加の割合から、悪化又は減少の割合を引いた値)

対前年・前月・当月	製造業			非製造業			合計		
	2023年9月	2024年8月	2024年9月	2023年9月	2024年8月	2024年9月	2023年9月	2024年8月	2024年9月
売上高	▲ 30	▲ 25	▲ 20	13	43	3	▲ 4	16	▲ 6
収益状況	▲ 25	▲ 35	▲ 15	3	▲ 7	3	▲ 8	▲ 18	▲ 4
景況感	▲ 45	▲ 20	▲ 20	▲ 3	7	▲ 3	▲ 20	▲ 4	▲ 10

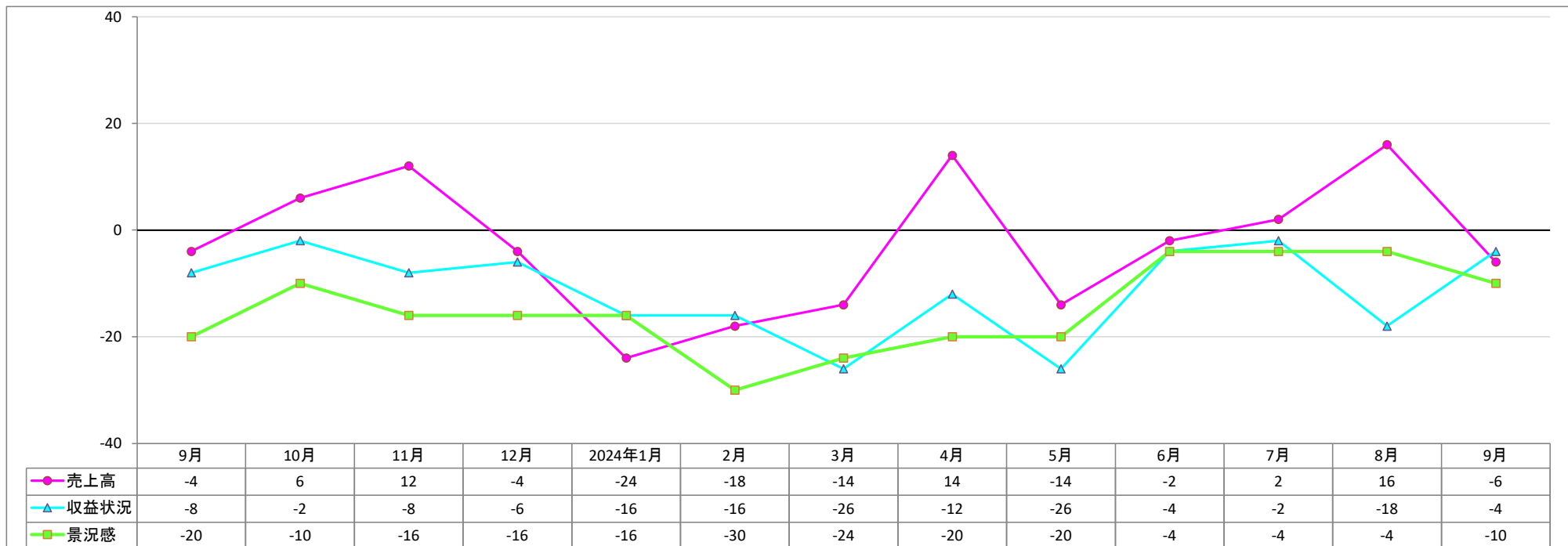
※((良数値÷対象数) ×100) - ((悪数値÷対象数)×100) = D.I値



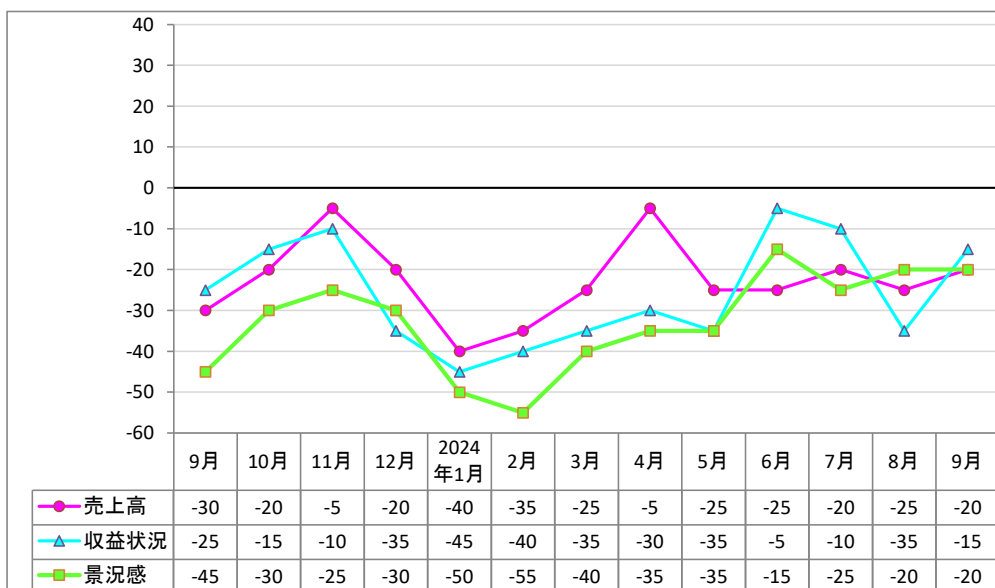
D.I値の推移①(過去10年間) 2014年1月~2024年9月



D.I値の推移②(過去1年間) 2023年9月～2024年9月



【製造業】



【非製造業】

